



第五小だより

生き生き学び、楽しくのびのび活動する、元気な学校

令和3年7月号

朝霞市立朝霞第五小学校

朝霞市泉水3-16-1

TEL048-462-0455



小学生が書いた手紙

校長 三好正浩

ある小学校の授業で6年生の子供達に「もし、あなたが将来、今の自分と同じ小学校6年生の子供の親になったとしたら、自分の子供にどんな一言を言いたいですか？どんな言葉をかけてあげたいですか？どんなことでもいいです。親になったつもりで、我が子にメッセージを贈ってあげてください。」という課題を出しました。子供達が生いたメッセージを紹介します。

我が子へ

自分がやりたい事、望んでいる事を目指してがんばってください。もし、大きな壁にぶつかってもあきらめないで。あなたの周りには、いい仲間がいっぱいだからね。

別に深刻に考えすぎなくていいんだよ。人がどうだとか、〇〇ちゃんよりダメだとかなんて、関係ない。自分を信じて、がんばってね。どのくらいかわからないけど、自分の人生だよ。自分が納得する人生を送ってね。悔いの残る人生はよくないからね。人生楽しく過ごしてね。くれぐれも、風邪などには注意してね。

我が子へ

夢を持ったならそれに向かって一直線に進みなさい。でも、誰でもその途中、いやになったり、あきらめたいと思うでしょう。でも、それも夢に向かってとても大事なことになる。大切なのは、誰に言われたのではなく、自分自身が決めたことをすること。その仕事をやって「しあわせ」だって思うのが自分がやりたいことだと思う。

我が子へ

いっしょに遊ぼう いっしょに寝よう いっしょにいたい

※「大人になって忘れてしまっている大切なこと」中山和義 著（PHP研究所）引用

これを読むと、子供達も、小学生の高学年にもなると自分の将来のことを考え、「夢に向かってがんばりたい」という気持ちを強くもっていることがわかります。そして、自分が親から言われたいこと・してほしいこと、親から言われたりしてもらったりして嬉しかったことも書いているように思われます。私（僕）のことをもっと信じて！もっと励まして！他の子と比べないで！いっしょに遊んで！いっしょに居て！ … そんな声も聞こえてくるようです。

1学期も残り少なくなりました。コロナ禍ではありますが、4月からの3か月で、子供達はさまざまな体験を積み重ねながら成長をしてきました。1学期を振り返るにあたり、子供達に励ましのメッセージを贈っていただけたらありがたいです。